

事業所名：グループホーム竹の庵

作成日： 2022 年 1 月 5 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	①今後も認知症サポーター研修を受講し、子ども達へのセミナーを開催していきたいと考えている。 ②コロナ禍でも行える交流方法(動画など)を楽しく検討し、子供たちやボランティア(オカリナ等)の方との交流の機会を増やしていく予定である。	ボランティア団体や学校・幼稚園などへの広報・営業活動を行い、交流を持てるように、まずつながりをつくり、いずれは認知症に関する啓蒙活動が行えるようにする。	ボランティア団体、学校等への積極的な働きかけを行う。そして職員レベルでの関係構築を目指したのち、子どもと入居者の交流を行えるように取り組む。	12 ヶ月
2	28	①今後も「見守り」「一部介助」等の詳細をアセスメント用紙に残すとともに、2表の中にご本人という表現を増やしていく予定である。 ②アセスメント記録に「生活歴」「できそうなこと」「介助理由」「行動障害の理由」「解決策」等の課題分析結果を増やすとともに、アセスメント内容と計画内容が連動するよう努めていく予定である。	入居者本位のケアプラン作りをよりいっそう心掛けて、ケアの実際もより入居者本位のものとしていく。またアセスメント内容が明確な支援計画の根拠となるよう、明瞭なケアプランとなるようにしていく。	主語をご本人とし、入居者様主体となるようにする。 アセスメント内容に「生活歴」「できそうなこと」「介助理由」「行動障害の理由」「解決策」等の課題分析結果を記載する。	3 ヶ月
3	51	今後もご入居者様の馴染みの場所を把握し、外出(ドライブ等)の回数を増やし、ご入居者様の気分転換を図っていききたいと考えている。	ご入居者様の生活歴などを再度アセスメントし、馴染みの場所、店、地域の情報収集に努める。そして外出の回数を増やし、入居者様それぞれに行き先を考える。	ミーティングにて再度入居者様それぞれの生活歴をアセスメントし、ドライブ等の外出の回数を増やす。	3 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月